



遠藤れい子ひまわりレポート



○遠藤れい子事務所 〒940-0052 長岡市神田町3丁目1-3 ☎ 0258-32-1741 fax 0258-32-6443
○県議会執務室 〒950-0965 新潟市中央区新光町4-1 県議会内 ☎025-280-5475

お母さんたち「子どもの安全な登校にスクールバスを」と中之島支所に要望伝える。

冬だけでもスクールバスを走らせてほしい



9/15 要望書を提出する住民代表(中央) 遠藤県議(右端)、受取る青木課長(左端)

9月15日、中之島中学校から4km以内の地元住民と母親がスクールバスの実現を求めて中之島支所の皆さんと懇談。遠藤れい子県議、笠井則雄市議、諸橋虎雄市議の3人が同席しました。市からは青木学務課長、支所の田中市民生活課長等6人が対応しました。

要望書を提出、説明

南雲代表が要望書を提出。母親の皆さんが実情をお話しました。

Aさん 夏は自転車通学だが雨の日など送迎が必要。朝は出勤に合わせて送っている。帰りは隣の方に同乗させてもらっている。ただ部活が違くと下校時間が違うので歩くことになる。

隣の子は歩いていて事故に遭いかけた。冬だけでもバスが欲しい。

Bさん 大型車がバンバン走っている。夏場は農道を通学する。ただ農道は人通りも少なく暗くなって女の子1人で歩かせたくない。仕事で中抜けして迎えに行っている。冬に近所の子が除雪されていない歩道をびしょ濡れで泣きながら歩いて帰ってくるのを見た。

Cさん 共働きだが朝はなんとか送っている。帰りは歩くかママ友の迎えで何とかしのいだ。朝の送迎は大変だ。県道が渋滞すると仕事に遅れてしまうので、途中で子どもを降ろして歩いて行かせた。

Dさん 小学校のボランティアに夏は歩いている。冬も歩いてみたが、車がとて怖かった。歩道除雪は間に合わず、歩ける状態ではない。

Aさん みずほ団地はほとんど子どもが増えている。中学生も増える。今でもバスは子どもはぎゅうぎゅう詰めで乗車している。

「冬は大変だ」との声を聞いている。子どもの安心安全を第一に考えて欲しい。

青木課長 基準により運行しているが、昔と事情の变化もある。実状を聞かせて

補聴器購入・带状疱疹ワクチンに助成を

―市内4団体が長岡市に要望行動―

9月16日、長岡社会保障推進協議会・年金者組合長岡支部・ながおか自治体研究所・長岡の介護と医療を考える会の代表は長岡市に対して要請。遠藤れい子県議員、笠井則雄市議員、諸橋虎雄市議員が同席しました。

もらい、子どもの安心安全を第一に、私どもとしても検討していきたい。
諸橋市議 栃尾地域での対応方法を紹介しました。
笠井市議 教育委員会としてぜひ降雪時の現地を確認してほしい。

《要請項目》

1. 補聴器購入に公費助成

2. 带状疱疹ワクチン接種に公費助成をお願いします。

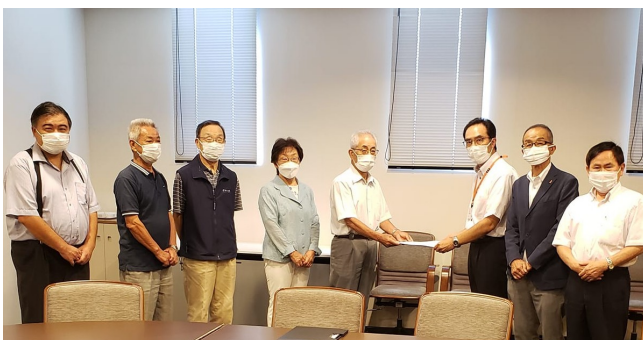
遠藤れい子

オフィシャルサイトを開設しました。



ホームページ

国葬に反対です



9/16 要望書を提出する4団体の代表と笠井・諸橋市議